

9 運営費交付金債務及び当期振替額等の明細

(1) 運営費交付金債務の増減の明細

(単位：円)

期首残高	当期交付額	当期振替額				引当金見返との相殺額	前期損益修正	期末残高
		運営費交付金収益	資産見返運営費交付金	資本剰余金	小計			
4,414,286,840	28,257,588,000	22,000,164,168	1,564,463,612	637,490	23,565,265,270	1,690,413,646	490,770,858	6,925,425,066

(注) 前期損益修正は、令和5年度及び令和6年度における財源間の執行予算の取り違え等に伴う財源別会計処理の修正により生じた運営費交付金債務の減少額であります。

(2) 運営費交付金債務の当期振替額及び主な使途の明細

① 運営費交付金収益への振替額及び主な使途の明細

(単位：円)

区分	運営費交付金収益	運営費交付金の主な使途	
業務達成基準による振替額		費用	主な使途
量子技術の基盤となる研究開発	3,652,561,728	3,652,561,728	人件費： 2,317,162,797 業務費： 1,288,491,778 その他： 46,907,153
健康長寿社会の実現や生命科学の革新に向けた研究開発	5,948,488,737	5,948,488,737	人件費： 3,567,580,222 業務費： 2,305,620,136 その他： 75,288,379
フュージョンエネルギーの実現に向けた研究開発	4,851,652,352	4,851,652,352	人件費： 2,533,209,405 業務費： 2,263,806,265 その他： 54,636,682
異分野連携・融合等による萌芽・創成的研究開発	63,410,917	63,410,917	人件費： 30,382,774 業務費： 33,028,143 その他： 0
放射線被ばくから国民を守るための研究開発と社会システム構築	1,457,658,872	1,457,658,872	人件費： 1,031,642,224 業務費： 422,807,897 その他： 3,208,751
研究開発成果の最大化のための取組等	4,198,179,144	4,260,141,281	人件費： 438,813,330 業務費： 3,816,581,468 その他： 4,746,483
期間進行基準による振替額	1,828,212,418	1,734,957,717	人件費： 1,146,508,754 管理費： 552,442,986 その他： 36,005,977
費用進行基準による振替額	-	-	費用進行基準を採用した業務はいたしておりません。
合計	22,000,164,168	21,968,871,604	

② 資産見返運営費交付金及び資本剰余金への振替額並びに主な使途の明細

(単位：円)

セグメント	資産見返運営費交付金への振替		資本剰余金への振替	
	振替額	主な使途	振替額	主な使途
量子技術の基盤となる研究開発	663,997,275	工具器具備品 553,285,500 その他 110,711,775	628,000	敷金・保証金 628,000
健康長寿社会の実現や生命科学の革新に向けた研究開発	333,936,575	医療用器械備品 144,242,500 工具器具備品 83,055,460 その他 106,638,615	-	
フュージョンエネルギーの実現に向けた研究開発	130,469,424	工具器具備品 58,065,080 一般機械及び装置 19,403,255 その他 53,001,089	9,490	その他 9,490
異分野連携・融合等による萌芽・創成的研究開発	31,212,180	工具器具備品 28,902,180 その他 2,310,000	-	
放射線被ばくから国民を守るための研究開発と社会システム構築	25,060,630	工具器具備品 23,480,317 その他 1,580,313	-	
研究開発成果の最大化のための取組等	332,046,161	工具器具備品 301,795,128 ソフトウェア 16,992,250 その他 13,258,783	-	
法人共通	47,741,367	ソフトウェア 32,262,428 その他 15,478,939	-	
合 計	1,564,463,612		637,490	

(3) 引当金見返との相殺額の明細

(単位：円)

セグメント	引当金見返との相殺		
	相殺額	主な相殺額の内訳	
量子技術の基盤となる研究開発	347,757,986	賞与引当金見返	266,687,060
		退職給付引当金見返	80,682,076
		環境対策引当金見返	388,850
健康長寿社会の実現や生命科学の革新に向けた研究開発	437,894,046	賞与引当金見返	259,281,616
		退職給付引当金見返	169,939,697
		環境対策引当金見返	8,672,733
フュージョンエネルギーの実現に向けた研究開発	483,443,410	賞与引当金見返	300,625,550
		退職給付引当金見返	182,817,860
異分野連携・融合等による萌芽・創成的研究開発	3,307,626	賞与引当金見返	1,965,698
		退職給付引当金見返	1,341,928
放射線被ばくから国民を守るための研究開発と社会システム構築	148,048,144	賞与引当金見返	90,627,060
		退職給付引当金見返	56,656,675
		環境対策引当金見返	764,409
研究開発成果の最大化のための取組等	99,739,306	賞与引当金見返	77,170,846
		退職給付引当金見返	22,568,460
法人共通	170,223,128	賞与引当金見返	129,686,299
		退職給付引当金見返	40,536,829
合 計	1,690,413,646		

(注) 退職給付引当金見返には、前払年金費用見返への振替額が含まれております。

(4) 運営費交付金債務残高の明細

運営費交付金債務残高		使用見込み
業務達成基準を採用した業務に係る分	6,925,425,066	翌事業年度に繰り越した運営費交付金債務残高と主な使用見込みは以下のとおりです。 運営費交付金債務残高及び使用見込み： ○量子技術の基盤となる研究開発で、1,783,000,284円収益化予定。 ○健康長寿社会の実現や生命科学の革新に向けた研究開発で、3,214,155,674円収益化予定。 ○フュージョンエネルギーの実現に向けた研究開発で、1,209,455,083円収益化予定。 ○異分野連携・融合等による萌芽・創成的研究開発で、5,239,396円収益化予定。 ○放射線被ばくから国民を守るための研究開発と社会システム構築で、220,886,853円収益化予定。 ○官民地域パートナーシップによる3GeV高輝度放射光施設NanoTerasuの整備等で、22,188,188円収益化予定。 ○戦略的イノベーション創造プログラム（S I P）光・量子を活用したSociety5.0実現化技術で、458,310,991円収益化予定。 いずれも翌事業年度に使用する見込みです。 令和6年度において、法人共通で運営費交付金配分額を12,188,597円超過して支出しました。当該超過支出額については、資金的裏付けがないため、会計基準第81第4項により、中長期目標期間の最後の事業年度において収益化する予定です。
期間進行基準を採用した業務に係る分	－	期間進行基準を採用した業務に運営費交付金債務残高はございません。
費用進行基準を採用した業務に係る分	－	費用進行基準を採用した業務はいたしておりません。
計	6,925,425,066	